

# オーストラリアREITファンド (年2回決算型)

追加型投信／海外／不動産投信

## 交付運用報告書

第17期(決算日2024年12月16日)

作成対象期間(2024年6月15日～2024年12月16日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、「オーストラリアREITファンド(年2回決算型)」は、2024年12月16日に第17期の決算を行いました。

当ファンドは、主要投資対象ファンドを通じて、主としてオーストラリア証券取引所に上場している不動産投資信託証券に投資し、安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っています。

ここに期間中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### スカイオーシャン・アセットマネジメント

〒220-8611 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1

<照会先> ホームページ：<https://www.soam.co.jp/>

サポートデスク：045-225-1651

(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

第17期末(2024年12月16日)	
基準価額	14,632円
純資産総額	745百万円
第17期	
騰落率	△ 1.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

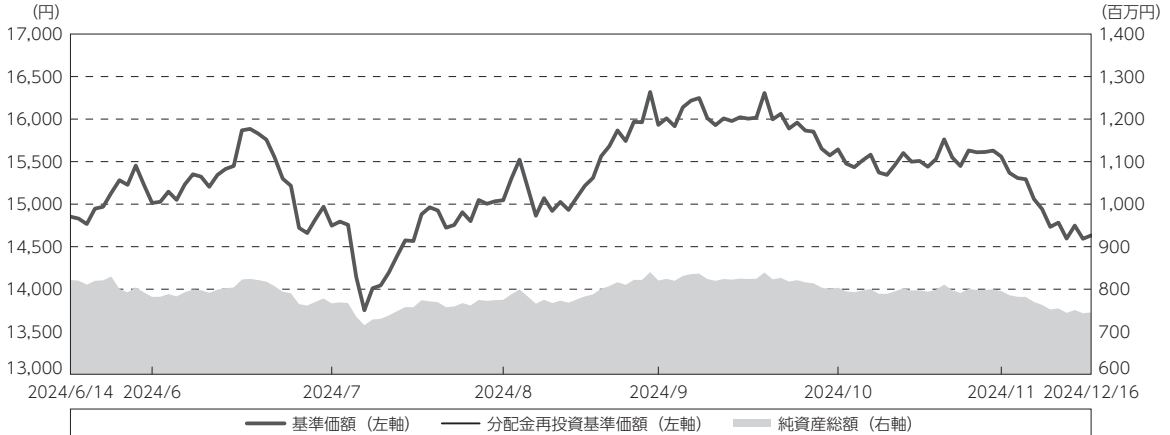
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。当社ホームページにアクセスし、「ファンド情報」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を希望される方は、販売会社までお問い合わせください。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2024年6月15日～2024年12月16日)



期 首：14,853円

期 末：14,632円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 1.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年6月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「フランクリン・テンプルトン・オーストラリアREITファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額も下落しました。

組入ファンド	投資資産	当期末組入比率	騰落率
フランクリン・テンプルトン・オーストラリアREITファンド(適格機関投資家専用)	オーストラリアのREIT	97.0%	-1.0%
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	わが国の公社債	0.0%	0.0%

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。騰落率は前期末(2024年6月14日)からのものです。

(注) 騰落率は分配金再投資ベースです。

## 1万口当たりの費用明細

(2024年6月15日～2024年12月16日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	88 (26) (60) ( 3 )	0.574 (0.167) (0.390) (0.017)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 ( 監 査 費 用 )	0 ( 0 )	0.003 (0.003)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	88	0.577	
期中の平均基準価額は、15,323円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

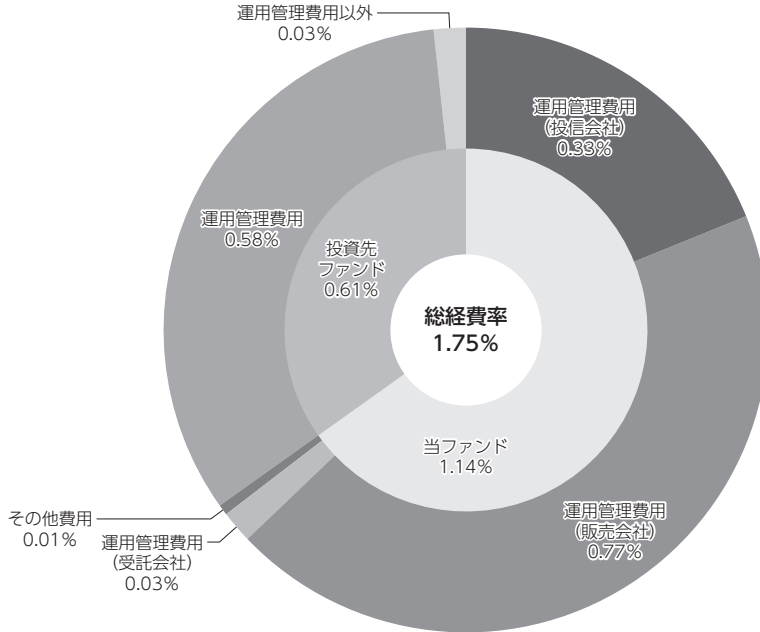
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.75
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年12月16日～2024年12月16日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2019年12月16日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年12月16日 決算日	2020年12月14日 決算日	2021年12月14日 決算日	2022年12月14日 決算日	2023年12月14日 決算日	2024年12月16日 決算日
基準価額 (円)	11,705	10,688	13,132	12,814	13,018	14,632
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 8.7	22.9	△ 2.4	1.6	12.4
純資産総額 (百万円)	1,403	1,577	1,285	918	821	745

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

**投資環境**

(2024年6月15日～2024年12月16日)

オーストラリアのリート市場は、上昇しました。

当期の前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）が2024年9月に利下げを開始するとの期待を背景に米国株式市場が上昇したため、オーストラリアの株式市場やリート市場も上昇しました。しかし、その後は軟調な米国の経済指標を受けて米国の景気後退懸念が浮上し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、リート市場は下落しました。当期の半ばは、オーストラリアの雇用統計などが足元の景気の底堅さを示したことや、FRBによる大幅利下げ観測の高まりなどを背景に米国株式市場が上昇したことから、オーストラリアの株式市場やリート市場も上昇しました。当期の後半は、オーストラリア準備銀行（RBA）高官のタカ派的な発言により、市場のRBAによる利下げ開始予想が後ずれしたことなどから、リート市場は下落しました。しかし、その後は、RBAが理事会の議事要旨で「過去の情報に過度に依存して経済状況の変化への対応が遅れることを避け、将来を見据えた姿勢を維持することが重要」と指摘したことや、市場の一部ではRBAが徐々に利下げ開始に近づいていると受け止められたため、リート市場は上昇しました。また、当期末にかけては、オーストラリアの実質国内総生産（GDP）成長率の伸びが市場予想を下回ったことや、中国当局がトランプ次期米政権の関税政策をにらみ人民元安の容認を検討していると報じられたことから、人民元安による中国の購買力低下がオーストラリアの対中輸出を下押しするとの見方が市場で広がったため、リート市場は下落しました。

オーストラリアドル・円相場は、オーストラリアドル安・円高となりました。当期の前半は、オーストラリアの消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回ったことや、RBAが理事会の議事要旨でインフレ抑制のために追加利上げが必要かどうかを検討したと明らかにしたことや、オーストラリアドルは対円で上昇しました。しかし、その後は2024年7月末の日銀の金融政策決定会合で利上げが実施され、その後の会見では植田日銀総裁が追加利上げについて言及したことや、オーストラリアドルは対円で下落しました。当期の半ばは、堅調なオーストラリアの雇用統計などを背景に、オーストラリアドル高・円安が進みました。また、日本の石破首相が植田日銀総裁との会談後、現在は追加の利上げをするような環境にはないとの見解を示したことが伝わり、日銀が利上げを急がないとの見方が市場で広まったことも、オーストラリアドル高・円安の要因となりました。当期の後半は、東京都区部CPIが市場予想を上回ったことで、12月に日銀が利上げに踏み切るのではないかとと思惑が強まったことから、オーストラリアドル安・円高が進みました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2024年6月15日～2024年12月16日)

## ○当ファンド

「フランクリン・templton・オーストラリアREITファンド（適格機関投資家専用）」への投資を高位に保つ運用を行いました。

## ・フランクリン・templton・オーストラリアREITファンド（適格機関投資家専用）

「フランクリン・templton・オーストラリアREITマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、主にオーストラリアの証券取引所に上場している不動産投資信託証券に投資しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

## 分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第17期
	2024年6月15日～ 2024年12月16日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,781

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### ○当ファンド

フランクリン・templton・オーストラリアREITファンド（適格機関投資家専用）への投資を通じて、主としてオーストラリア証券取引所に上場している不動産投資信託証券に投資します。

#### ・フランクリン・templton・オーストラリアREITファンド（適格機関投資家専用）

「フランクリン・templton・オーストラリアREITマザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にオーストラリアの証券取引所に上場している不動産投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。

#### ・FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した運用を目指します。

## お知らせ

該当事項はございません。

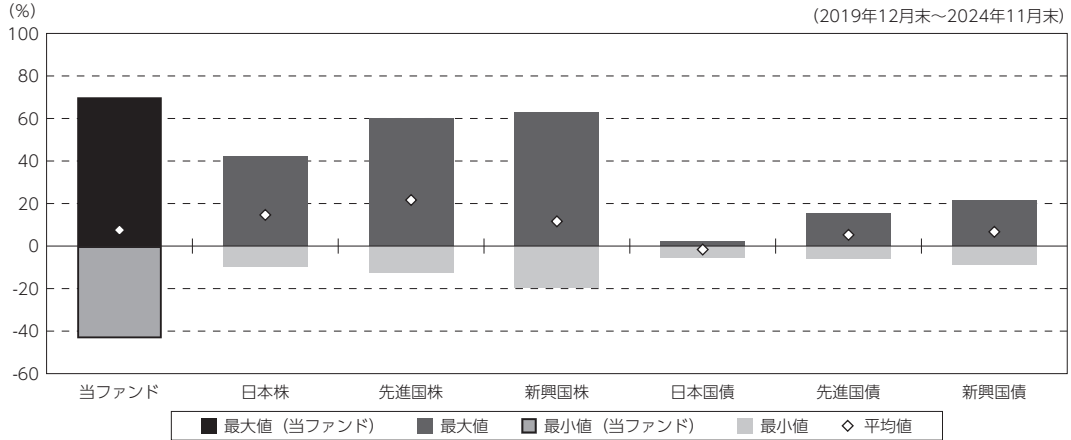
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2016年9月5日から2026年12月14日
運用方針	安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	フランクリン・templton・ジャパン株式会社が運用する「フランクリン・templton・オーストラリアREITファンド（適格機関投資家専用）」(以下「主要投資対象ファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
運用方法	主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリア証券取引所に上場している不動産投資信託証券に投資します。
分配方針	年2回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	70.0	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	△ 43.4	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	7.5	14.6	21.6	11.6	△ 1.6	5.3	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年12月から2024年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年12月16日現在)

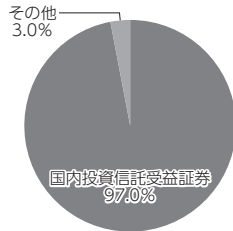
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第17期末
	%
フランクリン・テンプレトン・オーストラリアREITファンド(適格機関投資家専用)	97.0
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

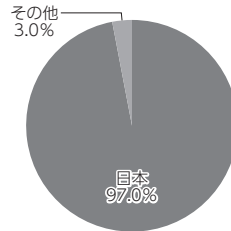
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

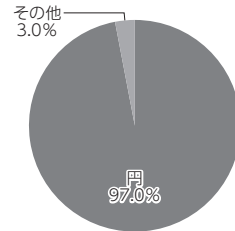
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第17期末
	2024年12月16日
純資産総額	745,378,000円
受益権総口数	509,399,964口
1万口当たり基準価額	14,632円

(注) 期中における追加設定元本額は8,837,640円、同解約元本額は52,517,603円です。

組入上位ファンドの概要

フランクリン・templton・オーストラリアREITファンド (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】

(2024年5月29日～2024年11月28日)



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年5月29日～2024年11月28日)

項目	第109期～第114期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託会社 )	31 (28) ( 1 ) ( 2 )	0.305 (0.277) (0.006) (0.022)
(b) 売買委託手数料 ( 投資証券 )	1 ( 1 )	0.009 (0.009)
(c) その他費用 ( 保管費用 ) ( 監査費用 ) ( 印刷等費用 ) ( 業務委託等費用 )	1 ( 0 ) ( 0 ) ( 0 ) ( 1 )	0.014 (0.004) (0.003) (0.002) (0.005)
合計	33	0.328

作成期間の平均基準価額は、10,146円です。

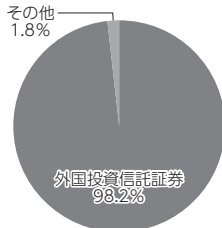
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

銘柄名	国・地域	組入比率
1 SCENTRE GROUP	オーストラリア	9.3%
2 GOODMAN GROUP	オーストラリア	8.7%
3 STOCKLAND	オーストラリア	7.6%
4 GPT GROUP	オーストラリア	7.0%
5 DEXUS/AU	オーストラリア	5.1%
6 INGENIA COMMUNITIES GROUP	オーストラリア	4.8%
7 NATIONAL STORAGE REIT	オーストラリア	4.5%
8 REGION RE LTD	オーストラリア	4.3%
9 HOMEKO DAILY NEEDS REIT	オーストラリア	3.9%
10 VICINITY CENTRES	オーストラリア	3.8%
組入銘柄数	29銘柄	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

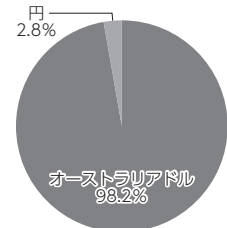
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年11月28日現在のものです。

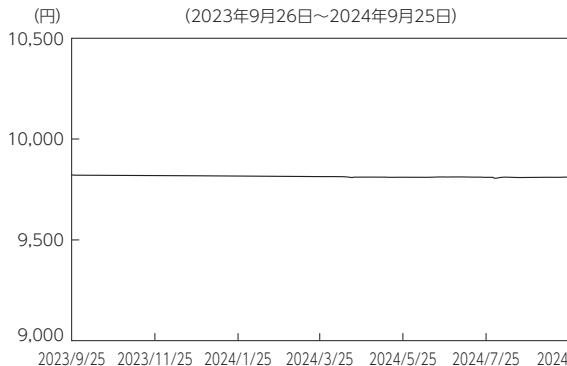
(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

FOFs用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】

(2023年9月26日～2024年9月25日)



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年9月26日～2024年9月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	14	0.143
( 投 信 会 社 )	(11)	(0.110)
( 販 売 会 社 )	( 1)	(0.011)
( 受 託 会 社 )	( 2)	(0.022)
(b) そ の 他 費 用	0	0.003
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.003)
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)
合 計	14	0.146

期中の平均基準価額は、9,814円です。

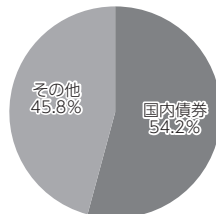
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

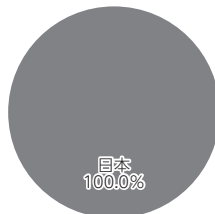
	銘 柄 名	国・地 域	組 入 比 率
1	第1220回国庫短期証券	日本	54.2%
2	—	—	—
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
	組入銘柄数	1銘柄	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

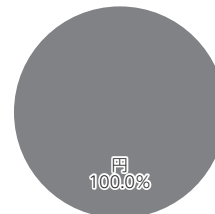
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年9月25日現在のものです。

(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。